

八潮市DV相談支援室では・・・

配偶者や恋人からの暴力に関する相談に応じるほか、被害者の安全と自立のために必要な支援を行います。

相談（電話・面接）

電話相談 DVに関することで、お困りのことがありましたら、まずはお電話をください。予約は不要です。

面接相談 面接相談を希望される方は、お電話にてご予約をお願いします。相談場所については、ご予約後、お知らせいたします。

支援（情報提供・助言・連絡調整）

情報提供 他の相談窓口や民間支援団体の情報など、情報提供を行います。

助言 制度の利用方法や、必要に応じ専門的な助言を行います。

連絡調整 警察や福祉事務所、県、他市町村などとの連絡調整を行います。

〈女性相談員が対応する時間〉

DV相談支援室では、専門の女性相談員が対応する時間を設けてあります。ご利用ください。

曜日：月曜日・金曜日

時間：10:00～12:00

13:00～16:00

その他のDV相談窓口

☆ 埼玉県配偶者暴力相談支援センター

（婦人相談センターDV相談担当）

月～土 9:30～20:30

日・祝 9:30～17:00

（年末年始を除く）

Tel 048-863-6060

☆ 埼玉県男女共同参画推進センター

（With You さいたま）

月～土 10:00～20:30

（祝日・第3木・年末年始・臨時休館を除く）

Tel 048-600-3800

☆ 埼玉県男女共同参画推進センター

（With You さいたま 男性のための電話相談）

第4日 11:00～15:00

（祝日・年末年始を除く）

Tel 048-601-2175

☆ 全国人権擁護委員連合会

（全国共通 人権相談ダイヤル）

月～金 8:30～17:15

（祝日・年末年始を除く）

Tel 0570-003-110

☆ 草加警察署生活安全課

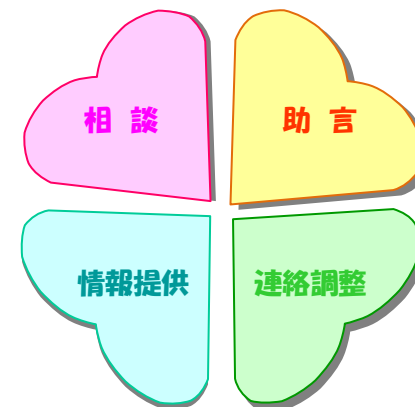
Tel 048-943-0110

緊急の時は、迷わず110番



配偶者や恋人からの暴力 ひとりで悩まないで・・・

配偶者や恋人からの暴力に悩んでいる方は、八潮市DV相談支援室をご利用ください。相談は無料です。秘密は守られます。



八潮市DV相談支援室

月曜～金曜 8:30～17:15

（祝日・年末年始を除く）

八潮市 企画財政部

人権・男女共同参画課内

048-996-3955

ドメスティック・バイオレンス (DV) とは

夫婦や恋人など親密な間柄で行われる暴力行為をドメスティック・バイオレンスといいます。DVは、犯罪となる行為をも含む重大な人権侵害であり、親しい間柄でも暴力は許されるものではありません。

DV被害者を支援するための法律として、配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律 (DV防止法) が定められています。

「八潮市DV相談支援室」は、DV防止法に基づく、配偶者暴力相談支援センターです。

いろいろな形態の暴力があります

◆身体に対する暴力

殴る・蹴る・物を投げつける・突き飛ばす・刃物を振りかざすなど

◆精神的暴力

怒鳴る・無視する・暴言・行動を監視する・大事なものを壊すなど

◆性的暴力

性行為の強要・避妊に協力しないなど

◆経済的暴力

生活費を渡さない・収入をとりあげる・使途を細かくチェックするなど

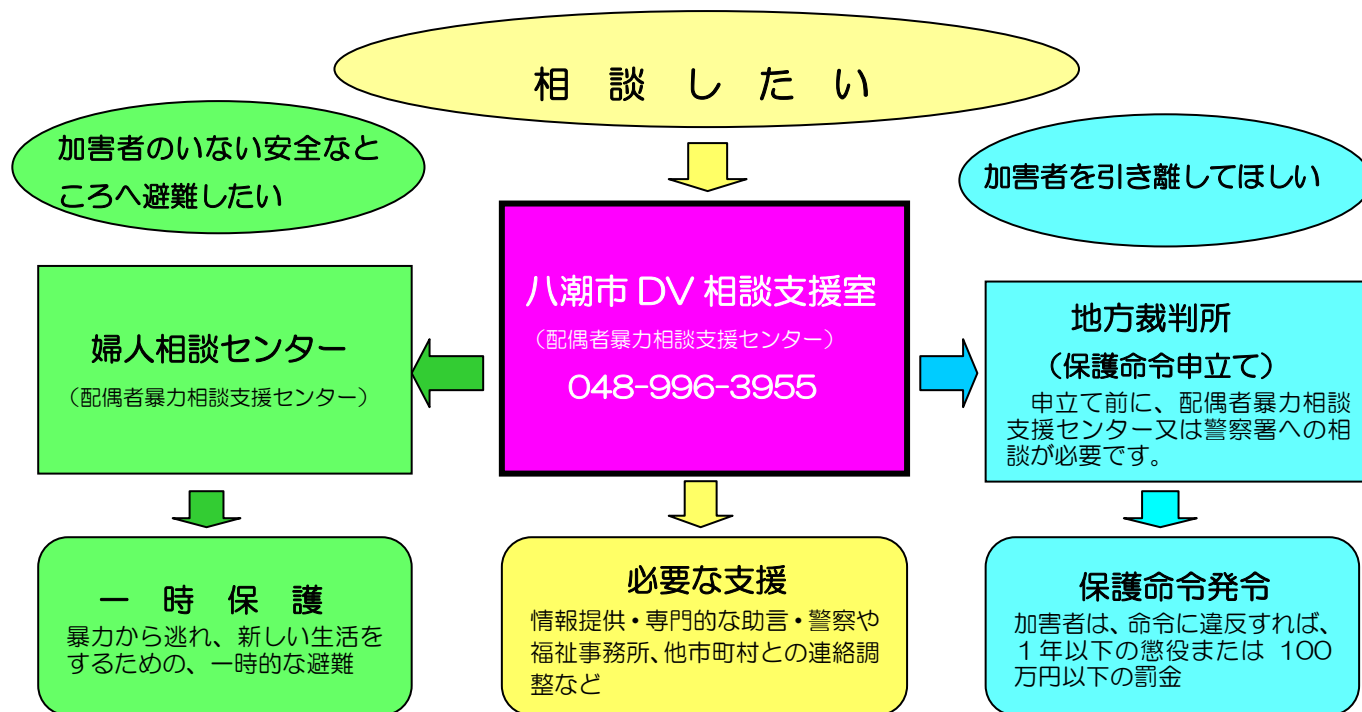
◆子どもを利用した暴力

子どもへの加害をほのめかす・子どもに被害者が悪いと思わせるなど

DV の子どもへの影響

児童虐待の防止等に関する法律では、子どもがDVを目撃することは、子どもに著しい心理的外傷を与え、児童虐待にあたるとされています。

八潮市DV相談支援室による相談者支援の流れ



保護命令とは (配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律第 10 条)

裁判所が被害者の申立てにより、加害者に対して発令する命令です。(更なる暴力により、生命又は身体に重大な危害を受けるおそれ大きいときに限ります。)

- ◆被害者への接近禁止命令
- ◆被害者の子および親族等への接近禁止命令
- ◆電話等禁止命令
- ◆退去命令

被害にあわれている方に・・・

被害者の方は、暴力に耐え続ける生活の中で、身も心も傷つき、あきらめにも似た無力感や孤独感を深めていることでしょう。どんな理由があっても、暴力を振るわれていいということはありません。専門機関に相談し、支援を求めるのは、被害者の方の権利です。

もし、あなたが相談を受けたら・・・

自分の価値観で論じたり、非難しないでください。また、話の内容が、加害者の耳に入ると暴力がエスカレートする恐れもありますので、本人の承諾がない限り、聞いた話を他人に話さないでください。そして、被害者の方に専門の相談機関について情報提供をしてください。そのことが、被害者にとって大きな力になるはずですよ。